

一般選抜要項

一般選抜では、受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています(ピアノ演奏家コース・メディアサウンドデザインコース・指揮コース除く)。コースによって若干の違いがあるため、コース毎の表を見て選んでください。

◆出願資格

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、及び2026年3月卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者、及び2026年3月修了見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

◆出願期間・選抜期間・合格発表

出 願 期 間	2026年1月5日(月)～1月14日(水)	郵送のみ・消印有効
選 抜 期 間	2026年1月30日(金)～2月1日(日)	
合 格 発 表	2026年2月2日(月)	本人宛発送

◆選考方法・判定基準

実技選抜、音楽理論、ソルフェージュ、面接およびアドミッションポリシーが満たされていることにより合否の判定をします。各コースの得点以外に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価するために、調査書を評価の一部として加えます。

	ソルフェージュ	音楽理論
ピアノ演奏家コース 指揮コース(プロフェッショナル)	新曲視唱 聴音書取…四声体、単旋律、二声旋律 (P.51～52例題参照)	主として楽典一般 (P.53～58例題参照)
ピアノコース 作曲・音楽クリエイションコース(A)	新曲視唱…調性は♯、♭、2つまで ※唱法は自由。 聴音書取…旋律2題、和声1題 調性は♯、♭、2つまで (P.59例題参照)	主として楽典一般 (P.60～61例題参照)
上記以外のコース ※指揮(指導者)、メディアサウンド デザインコースを除く	新曲視唱…調性は♯、♭、2つまで ※唱法は自由。 聴音書取…旋律2題 調性は♯、♭、2つまで (P.59例題参照)	主として楽典一般 (P.60～61例題参照)

【音楽理論とソルフェージュの受験について】

本学音楽講習会で「認定テスト(音楽理論、ソルフェージュ)」を受験し、認定の評価を受けている者は免除を希望することができます(ピアノ演奏家コース・指揮コース・メディアサウンドデザインコースを除く)。一般選抜で音楽理論・ソルフェージュの受験をしない場合、それぞれの科目について、「認定テスト」の評価(A・B・C)に応じて、A=80点、B=60点、C=40点が配点されます。

なお、「認定テスト」の認定をすでに受けており、一般選抜で音楽理論・ソルフェージュの受験を希望する場合は、それぞれの科目について、より高い方の得点が配点されます。

ピアノ演奏家コース・指揮コース(プロフェッショナル) 受験者の方へ

ピアノ演奏家コース不合格の場合は、自動的にピアノコースで合否を判定いたします。

指揮コース(プロフェッショナル) 不合格の場合は、自動的に指揮コース(指導者)で合否を判定いたします。

各コース別 一般選抜実技選抜課題

すべての実技選抜において演奏を途中で切る場合があります。

ピアノ演奏家コース（一般選抜のみ実施。他コースのような選抜方式の選択はありません。）

①実技 ※A、B、C全てを暗譜で演奏のこと。曲順は自由。

- A 古典派のソナタ（複数楽章も可）
 B エチュード F. Chopin、F. Liszt、C. Debussy、A. Scriabin、
 S. Rachmaninov、B. Bartók、I. Stravinsky、K. Szymanowski、
 S. Prokofiev、G. Ligeti から任意の1曲
 C 自由曲（古典派以外の作品。複数曲可。）
 ※A、B、C合わせて20分以上～25分程度であること。
 ※内部奏法等を含む作品は除く。

①専攻実技	340
②音楽理論	80
③ソルフェージュ	80
④面接	A・B・C評価
総合点	500

②音楽理論※

③ソルフェージュ※

※ P.29 選考方法参照

④面接

ピアノコース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式（a・c）を自由に選べるようになっています。）

選抜科目	選抜方式※1	a	c
①専攻実技		300	500
②音楽理論		100	—
③ソルフェージュ		100	—
④面接		—	A・B・C評価
総合点		500	500

※1 選抜方式を受験者が選択し、
 出願してください。
 選抜方式によって、①～④の
 うち受験する科目・配点は異
 なる。

①実技

※すべて暗譜で演奏のこと。繰り返しはしない。

【課題曲Ⅰ】 下記の曲（1）～（8）より任意の1曲を各自が選択し、演奏する。

番号	曲 目	作 曲 者
(1)	50番練習曲 Op.740	Czerny
(2)	60番練習曲 Op.365	Czerny
(3)	60 Etudes	Cramer=Bülow
(4)	Gradus ad Parnassum (Tausig 編)	Clementi
(5)	24 Studies for the piano Op.70	Moscheles
(6)	15 Etudes Op.72	Moszkowski
(7)	12 Etudes Op.10	Chopin
(8)	12 Etudes Op.25	Chopin

※(7) Op.10 No.6 (8) Op.25 No.7を除く。

【課題曲Ⅱ】 任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※上記課題曲Ⅰの（1）～（8）は除く。自作曲は除く。

指揮コース（一般選抜(二次を除く)のみ実施。他コースのような選抜方式の選択はありません。）

指揮コース（プロフェッショナル）

①指揮実技

課題曲

ウェーバー：魔弾の射手「序曲」の指揮をする（ピアノ2台4手）

②ピアノ実技

自由曲

※暗譜で演奏すること。

③音楽理論※

④ソルフェージュ※

※ P.29 選考方法参照

⑤面接

①指揮実技	250
②ピアノ実技	50
③音楽理論	100
④ソルフェージュ	100
⑤面接	A・B・C評価
総合点	500

指揮コース（指導者）

①指揮実技

課題曲

下記（1）～（3）より1つを選択し、指揮をする（ピアノ2台4手）

（1）モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク第1楽章

（2）ベートーヴェン：交響曲 第5番「運命」より第1楽章

（3）リード：アルメニアンダンスパート 1（Sam Fox 版）から1曲を自由選択する。

1. Tzirani Tzar 「杏の木」
2. Gakavi Yerk 「ヤマウズラの歌」
3. Hoy, Nazan Eem 「おーい、僕のナザン」
4. Alagyaz 「アラギャズ山」
5. Gna, Gna 「行け、行け」

②器楽または声楽実技

自由曲（ピアノ、声楽、管弦打楽器より1つを選択）

※楽譜は見てもよい。（ただし、声楽のみ暗譜で歌うこと。）

- ・声楽で受験する場合、ピアノ伴奏譜（P.9の⑤参照）を願書に添えて受験すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打楽器で受験する場合、伴奏はなし。

③面接

①指揮実技	350
②器楽または声楽実技	150
③面接	A・B・C評価
総合点	500

管楽コース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式（a・b・c・d）を自由には選べるようになっています。）

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科ピアノ		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

■フルート ■オーボエ ■クラリネット ■バス・クラリネット ■ファゴット
■サクソフォーン（ソプラノ、アルト、テナー、バリトン） ■ホルン ■トランペット ■トロンボーン
■バス・トロンボーン ■ユーフォニアム ■チューバ
任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する。 ※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

弦楽コース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式（a・b・c・d）を自由には選べるようになっています。）

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科ピアノ		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

※伴奏はなし。

■ヴァイオリン

※いずれも暗譜で演奏のこと。

- (1) C. Flesch : Scale System より C dur No.5を冒頭から9小節まで演奏する。
 - ・テンポ ♩ = 69前後で演奏すること。
 - ・ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
 - ・Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

- (2) 任意の独奏曲1曲を演奏する。
 - ・エチュード、自作曲は除く。

■ヴィオラ

※楽譜は見てもよい。

- (1) 音階：譜例（P.50）のとおり音階を演奏する。
 - ・任意の速度で演奏すること。
- (2) 任意の独奏曲、または練習曲1曲を演奏する。

■チェロ

※楽譜は見てもよい。

- (1) 音階：譜例（P.50）のとおり音階を演奏する。
 - ・任意の速度で演奏すること。
- (2) 任意の独奏曲、または練習曲1曲を演奏する。

■コントラバス

※楽譜は見てもよい。

- (1) 音階：譜例（P.50）に従い、ホ長調、ヘ長調、ト長調より当日、本学が指定する音階を1つ演奏する。
 - ・譜例のリズム型で演奏し、2オクターブ演奏すること。任意の速度で演奏すること。
- (2) 任意の独奏曲、または練習曲1曲を演奏する。

■ハーブ

※いずれも暗譜で演奏のこと。繰り返しはしないこと。

(1) N. Ch. Bochsa の練習曲より任意の 1 曲を演奏する。

・版の指定は無し。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

■クラシックギター ※楽譜は見てもよい。

(1) Matteo Carcassi 25 Etudes No.1. Op.60- 1 (全音楽譜出版) を演奏する。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲 1 曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

打楽コース (受験者の得意な科目を活かせる受験方式 (a・b・c・d) を自由に選べるようになっています。)

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科ピアノ		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

※伴奏はなし。

■マリンバ

※いずれも暗譜で演奏のこと。

(1) Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone. Marimba. Vibraphone (チャペル版) I、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴより任意の 1 曲を選択し、演奏する。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

■小太鼓

※楽譜は見てもよい。

(1) 1 つ打ち、2 つ打ち、5 つ打ち、7 つ打ち、9 つ打ちより、当日、本学が指定する。

(2) 任意の独奏曲または練習曲 1 曲を演奏する。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲 1 曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

邦楽コース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式（a・b・c・d）を自由には選べるようになっています。）

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科実技※2		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 副科実技は専攻実技以外の任意楽器演奏とする。

①実技

- 箏 唄を伴う任意の1曲を暗譜で演奏する。
- 三味線（長唄三味線）
- 三代目 杵屋正治郎作曲「娘道成寺」（新合方）を暗譜で演奏する。
 - 任意の1曲を演奏する。※楽譜は見てもよい。
- 尺八 一尺八寸管（D管）を使用のこと。流派は問わない。※楽譜は見てもよい。
- 諸井誠「竹籟五章」より第一章（芬陀）を演奏する。
 - 任意の独奏曲を2分程度演奏する。

②任意楽器演奏※2を参照

任意の独奏曲1曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）

※楽譜は見てもよい。

声楽コース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式（a・b・c・d）を自由には選べるようになっています。）

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科ピアノ		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

任意の声楽曲2曲を演奏する。

※暗譜で歌うこと。

- ・原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。
 - ・アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。（例：歌劇「セヴィリアの理髪師」から「今の歌声は」をへ長調で歌うなど）
- （注）ピアノ伴奏譜（P.9の⑤参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

ミュージカルコース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。）

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科実技※2		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 副科実技は任意楽器演奏とする。

①実技

AとBの両方を受験すること。

A) ヴォーカル 3分程度の曲を1曲演奏する。(ミュージカルの曲を選曲し、原語または日本語で歌う)

(注)・ピアノ伴奏譜(P.9の⑤参照)を願書に添えて提出すること。

・伴奏者同伴の必要はなし。

・暗譜で歌うこと。

・B) ヴォーカルを選択する場合は、A) ヴォーカルの選曲と重複しないこと。

B) ヴォーカルまたはダンスのどちらかを選択する。

■ヴォーカル 下記の課題曲より1曲を選択し、演奏する。

	番号	曲目	調性	作曲者	楽譜	出版社
課題曲 [女性]	1	《THE SOUND OF MUSIC》より My Favorite Things	E minor	RICHARD RODGERS	ヴォーカル セレクション	ヤマハミュージック メディア
	2	《MY FAIR LADY》より I Could Have Danced All Night	C major	FREDERICK LOEWE	ミュージカル・ベスト・コレクション (改訂版)	シンコーミュージック
	3	《CATS》より Memory (日本語訳詞)	B ^b major	A.L. WEBBER		シンコーミュージック
	4	《Les Misérables》より On My Own	D major	CLAUDE-MICHEL SCHÖNBERG	ミュージカル サウンドシリーズ	ドレミ楽譜出版社

	番号	曲目	調性	作曲者	楽譜	出版社
課題曲 [男性]	5	《MY FAIR LADY》より On The Street Where You Live	B ^b major	FREDERICK LOEWE	ミュージカル・ベスト・コレクション (改訂版)	シンコーミュージック
	6	《Les Misérables》より Empty Chairs at Empty Tables	A minor	CLAUDE-MICHEL SCHÖNBERG	ミュージカル サウンドシリーズ	ドレミ楽譜出版社
	7	《BEAUTY AND THE BEAST》より If I Can't Love Her	C major	ALAN MENKEN	ブロードウェイ・ミュージカル版	Hal Leonard
	8	《Aladdin》より Proud of Your Boy	D major	ALAN MENKEN	ブロードウェイ・ミュージカル版 ピアノ・ヴォーカル セレクション	ヤマハミュージック メディア

(注)・伴奏者同伴の必要はなし。

・暗譜で歌うこと。

・課題曲の調は表記された調のみとする。

・課題曲は全て原語で歌うこと。(3番を除く)

・ピアノ伴奏譜(P.9の⑤参照)を願書に添えて提出。

・課題曲の楽譜については本大学にお問い合わせください。

■ダンス バレエまたはジャズダンスのどちらかを踊る。

(1) バレエはクラシックバレエからヴァリエーション(3分程度)を踊る。

(2) ジャズダンスは自由曲(3分程度)を踊る。

(注)・いずれも音源(CD)は各自で用意し願書に添えて提出すること。

・動きやすい服装と靴を着用すること。

②任意楽器演奏※2を参照

任意の独奏曲1曲を演奏すること。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。(本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。)

※楽譜は見てもよい。

作曲・音楽クリエイションコース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。）

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科実技※2		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

※2 副科実技は「A：副科ピアノ、B：任意楽器演奏」とする。

下記のAまたはBより選択して受験する。

A

①実技（口頭試問）

(1) 編成の違う自作品の楽譜（コピー可）を2曲提出する。

- ・ 出願書類に同封のこと。
- ・ 提出された楽譜は返却しない。

②副科ピアノ実技※2を参照

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

B

①実技（口頭試問）

(1) 出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲をYouTube 限定公開にアップし、そのURL をメールで送ること。

- ・ メール先：kouho_on@meion.ac.jp
- ・ 曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。
- ・ 曲の長さは7分以内とする。
- ・ 受験曲目記入票に曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

メディアサウンドデザインコース

①実技

出願期日までに『自己アピール書』を提出 ※様式はHP 募集要項ページよりダウンロード

自己アピール書の内容に基づいた口頭試問・面接 ※音楽理論・ソルフェージュは課しません。

①専攻実技	500
②面接	A・B・C評価
総合点	500

②面接

電子オルガンコース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。）

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科ピアノ		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

ヤマハエレクトーン演奏グレード5級以上の楽曲、または同程度以上の自作・自編の楽曲を1曲演奏する。

※暗譜で演奏すること。

- ・試験場での使用機種は、YAMAHA ELS-02C, ELS-02X (バイタライズ)。
- ・レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないので、あらかじめUSBフラッシュメモリーで用意すること。
- ・MDRの使用範囲は、演奏データを含まないものとする。

ヤマハ音楽能力検定制度 エレクトーン演奏グレード5級取得者は実技選抜が免除されます。

※上記のグレード5級取得者は、出願時に合格証書のコピー (P.9の⑧参照) を同封してください。(実技選抜の免除を希望する場合のみ)

※実技選抜が免除された者は、特待生試験の受験対象外となります。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

- ・クラシックに限る。出版されている曲のみ。

ジャズ・ポピュラーコース (受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科実技※2		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 副科実技は専攻実技以外の任意楽器演奏とする。

①実技

- ピアノ
- ドラム
- ベース (アコースティック・エレクトリックを問わない)
- ギター (アコースティック・エレクトリックを問わない)
- サクソフォーン (ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない)
- トランペット
- トロンボーン

下記の(1)または(2)を選択し、演奏する。

- (1) 任意の1曲をマイナスイン音源を使用し演奏する。

※マイナスイン音源 (CD) は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

※CDの作成が難しい場合は、出願期日の1週間前までに入試・広報課まで申し出ること。

- (2) Moritat (Bertolt Brecht / Kurt Weill) を演奏する。

※楽譜および音源は、本学に請求してください。

請求先: 名古屋音楽大学 入試・広報課 (フリーダイヤル0120-115-796)

■ヴォーカル

任意の1曲を演奏する。

- (1) 演奏形態は次から選び、曲目記入欄に記すこと。【マイナスイン音源 (CD)、アカペラ、弾き歌い】

- (2) マイナスイン音源 (CD) は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

※CDの作成が難しい場合は、出願期日の1週間前までに入試・広報課まで申し出ること。

②任意楽器演奏 ※2を参照

任意の独奏曲1曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。(本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。) 楽譜は見てもよい。

音楽教育コース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①実 技※2		300	200	500	300
②副 科 ピ ア ノ		—	100	—	200
③音 楽 理 論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面 接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総 合 点		500	500	500	500

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 実技は任意楽器演奏(声楽含む)とする。ただしb、dの実技はピアノ以外とする。

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

- ・声楽で受験する場合、ピアノ伴奏譜（P.9の⑤参照）を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

音楽療法コース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①実 技※2		300	200	500	300
②副 科 ピ ア ノ		—	100	—	200
③音 楽 理 論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面 接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総 合 点		500	500	500	500

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 実技は任意楽器演奏(声楽含む)とする。ただしb、dの実技はピアノ以外とする。

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

- ・声楽で受験する場合、ピアノ伴奏譜（P.9の⑤参照）を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

音楽総合コース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①実 技※2		300	200	500	300
②副 科 ピ ア ノ		—	100	—	200
③音 楽 理 論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面 接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総 合 点		500	500	500	500

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 実技は任意楽器演奏(声楽含む)とする。ただしb、dの実技はピアノ以外とする。

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

- ※楽譜は見てよい。
- ・声楽で受験する場合、ピアノ伴奏譜（P.9の⑤参照）を願書に添えて提出すること。
 - ・伴奏者同伴の必要はなし。
 - ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てよい。繰り返しはしないこと。

音楽ビジネスコース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

選抜科目	選抜方式※1	a	b	c	d
①作 文		300	200	500	300
②副 科 実 技※2		—	100	—	200
③音 楽 理 論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面 接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総 合 点		500	500	500	500

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 副科実技は任意楽器演奏とする。

①作文

800字程度（P.62例題参照）。

選抜時間は90分。

②任意楽器演奏※2を参照

任意の独奏曲1曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）

※楽譜は見てよい。